

UN CLIMATE
CHANGE

COP26で見た 「2050年ゼロ」潮流

～企業への示唆～

WWFジャパン 気候エネルギー・海洋水産室長 山岸 尚之

2021年12月1日

© Naoyuki Yamagishi

COP26での“ゼロ”潮流



相次いだネットゼロ目標の発表

- インド : 2070年までにネットゼロ
- ベトナム : 2050年までにネットゼロ
- タイ : 2065年までにネットゼロ
- ネパール : 2045年までにネットゼロ

森林破壊のゼロ

- Glasgow Leaders' Declaration on Forests and Land use
- 発表時点で120弱の国々が参加。その後終了までに増えて、**141か国**が参加。日本含む。
- ただし、既存のニューヨーク宣言の焼き直しであることなどや、ブラジルの非持続的な政策にお墨付きを与える点などに批判も・・・

※これら以外にも多数の宣言、イニシアティブの発表があった

自動車業界のゼロ

- COP26 Declaration on Accelerating the Transition to 100% Zero Emission Cars and Vans
- 国、州・地域・自治体、自動車会社、物流事業者など、様々な主体が集まって発表された。
- **世界全体で2040年までに、主要市場の中では、遅くとも2035年までに、新車販売（普通車・バン）のすべてを排出量ゼロにすることへ向けて取り組むことを宣言。**
- 国としては28か国+10の新興国が参加。日本が不参加である他、ドイツ、アメリカも不参加であるため、効果が限定的との評価も。

航空業界のゼロ

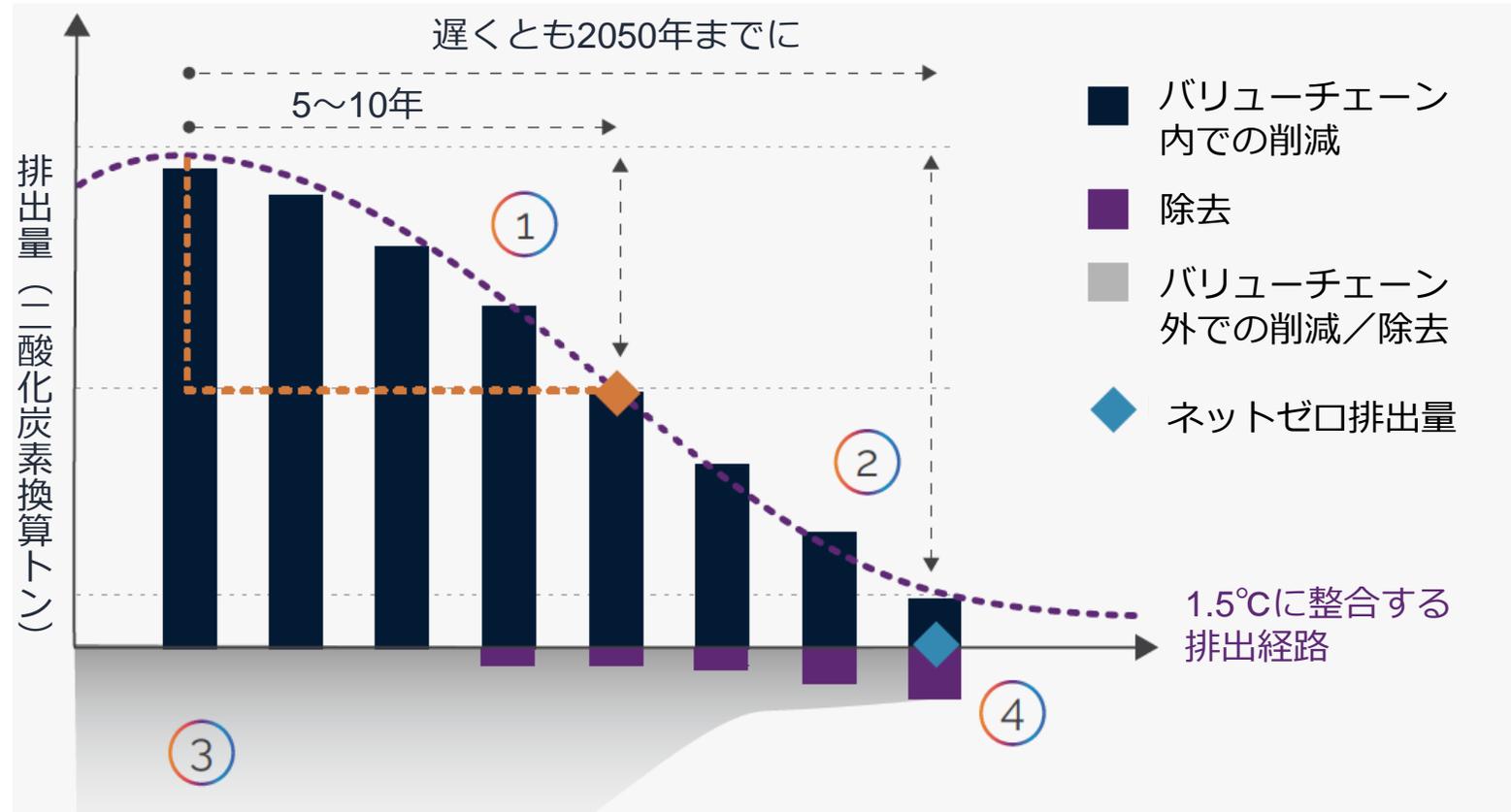
- International Aviation Climate Ambition Coalition による宣言。
- **ICAOが2050年ネットゼロ目標を採択することを支持する**と表明。
 - ※航空事業者の国際団体であるIATAは10月にネットゼロ宣言を発表。
- 23か国が参加。日本やアメリカも含む。
- 他方で、今回の宣言は、2030年までの具体的な目標や具体的な措置（例：空港新設をしないなど）を含まないので、弱いとの批判も。

「ネットゼロ」の基準化



COP26直前に、SBTiによって発表された企業の「ネットゼロ」基準

Figure 2 Key elements of the Net-Zero Standard



- ① **短期目標の設定** : 1.5°Cに整合する5~10年の目標
- ② **長期目標の設定** : 遅くとも2050年までに、1.5°Cに整合する残余排出量まで減らす目標
- ③ **バリューチェーン外での緩和** : ジュリスディクショナル REDD+からの高品質クレジットの購入やDAC+ 地中貯留への投資
- ④ **残余排出量の中和** (neutralization)

(出所) SBTi (2021) SBTi Corporate Net-Zero Standard (Version 1) <https://sciencebasedtargets.org/net-zero#resources-for-setting-net-zero-targets>